

た な か と し の り  
**田中利則新局長が着任**



平成31年 1月15日付けで沖縄防衛局長を拝命した田中です。沖縄勤務は、企画部長時代を含め約4年ぶり二度目の勤務となります。ここ沖縄においては、普天間飛行場移設問題をはじめ様々な課題、懸案が山積していますが、前回の経験を生かし、様々な懸案の解決のため職員とともに頑張っております。

個人的には、前回触れることができなかつた沖縄文化に親しむ機会が得られることに期待し、また、久しぶりにお会いする皆様方との再会を楽しみにしております。

【次ページに新幹部職員の紹介】

目 次	CONTENTS
田中利則新局長が着任	1
幹部職員の紹介	2
山田防衛大臣政務官の沖縄訪問	2
宮古島駐屯地（仮称）整備工事の進捗状況	3
石垣島への陸上自衛隊配置に係る住民説明会の開催について	3
普天間飛行場代替施設建設事業の進捗状況	4～5
伊江島補助飛行場におけるLHDデッキの完成	5
普天間飛行場の一部土地の共同使用について	5
平成30年度沖縄関係予算政府案決定	6～7
住宅防音事業に関するお知らせ	7
平成30年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式	8
在日米軍従業員募集のお知らせ	8

## 幹部職員の紹介

平成30年8月3日付けで竹内次長が、平成31年1月1日付けで中村次長が着任いたしましたので、ご挨拶いたします。

次 長

たけうち よしひさ  
竹内 芳寿



昨年8月3日付けで沖縄防衛局次長に着任しました竹内です。

沖縄での勤務は、31年ぶりとなります。この間、本省等の勤務を通じ、沖縄県内の提供施設・区域の返還・共同使用、施設整備等に携わってきました。着任から、半年が過ぎましたが、引き続き、沖縄の基地負担の軽減に資するよう取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

次 長

なかむら てるゆき  
中村 晃之



1月1日付けで沖縄防衛局次長に着任しました中村です。

国土交通省からの出向で、これまでは主に港湾空港の整備に関わっておりました。

また、初めての沖縄勤務となりますが、局次長の立場として、沖縄の皆様の意見をしっかりと聞きながら、微力を尽くしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

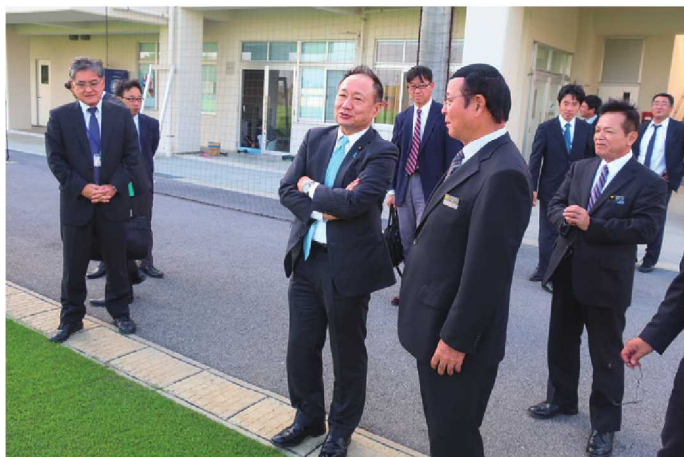
## 山田防衛大臣政務官の沖縄訪問について

山田防衛大臣政務官は、平成30年12月27日から28日の日程で、就任後初めて沖縄を訪れました。

27日には、キャンプ・シュワブ沿岸部において普天間飛行場代替施設建設事業を、ギンバル訓練場跡地において、金武町ベースボールスタジアム、金武町フットボールセンター、(株)佐喜眞義肢を視察したほか、ネイチャーみらい館において、キャンプ・ハンセンに関する三町村連絡協議会（金武町長、宜野座村長、恩納村長）と面談を行いました。

面談の冒頭、山田政務官から、「常日頃よりキャンプ・ハンセンをはじめとする防衛施設をめぐる諸問題への対応に関し、多大なご尽力を頂いていることに感謝を申し上げます。防衛省としても様々な諸問題を解決するために皆様方との協力や連携が不可欠であると考えており、今後とも皆様のご意見を拝聴しながら誠実に対応してまいりますので、引き続きご理解とご協力のほど、宜しくお願いいたします。」と挨拶いたしました。

翌28日には、嘉数高台公園から普天間飛行場を視察したほか、同年3月に国道58号線拡幅用地として返還された牧港補給地区の一部の返還跡地の視察を行いました。



仲間金武町長から「ギンバル訓練場跡地」において説明を受ける山田政務官



キャンプ・ハンセンに関する三町村連絡協議会との面談の様子



## 宮古島駐屯地(仮称)整備工事の進捗状況

宮古島における宮古島駐屯地(仮称)の整備工事につきましては、平成30年度に予定している警備部隊新編に向け工事を進めているところであり、現在は、各建物の内外装工事及び給排水等の工事を実施中です。

当局といたしましては、工事の実施に当たり、引き続き作業の安全に十分留意した上で、地元住民の皆様の生活環境に配慮し、適切に実施してまいります。

### 【隊庁舎・工事状況】



(平成31年1月撮影)

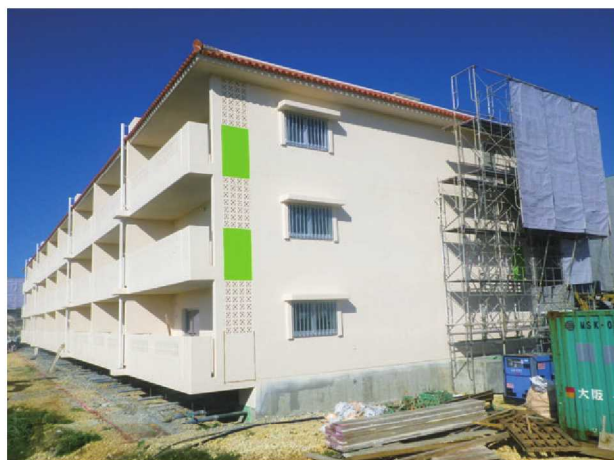


(平成31年1月撮影)

### 【宿舎・工事状況】



(平成31年1月撮影)



(平成31年1月撮影)

## 石垣島への陸上自衛隊配置に係る住民説明会の開催について

防衛省本省及び沖縄防衛局は、平成30年11月21日、石垣市健康福祉センターにおいて、駐屯地予定地周辺の4地区(開南、於茂登、嵩田、川原)を対象とした住民説明会、また、同月29日には、石垣市民会館において、石垣市民全ての皆様を対象とした住民説明会を開催いたしました。

石垣島への陸上自衛隊配置については、平成29年5月、若宮防衛副大臣(当時)から中山石垣市長に対して、部隊配置の候補地である「平得大俣東側にある市有地及びその周辺」における施設配置案について、民有地の利用も含めて具体的に説明し、同年6月には、石垣市民の皆様を対象とした住民説明会を開催いたしました。

今回の説明会では、市民の皆様のご理解を得るため、部隊配備の必要性、配備される部隊、施設配置案、補助事業の例などの説明に加え、現在、実施している調査等の概要や宿舎などを説明いたしました。

防衛省といたしましては、現在、用地取得や施設整備に向けて調査等を実施しており、引き続き、地元住民の皆様からのご理解・ご協力を頂けるよう、丁寧な説明に努めてまいります。



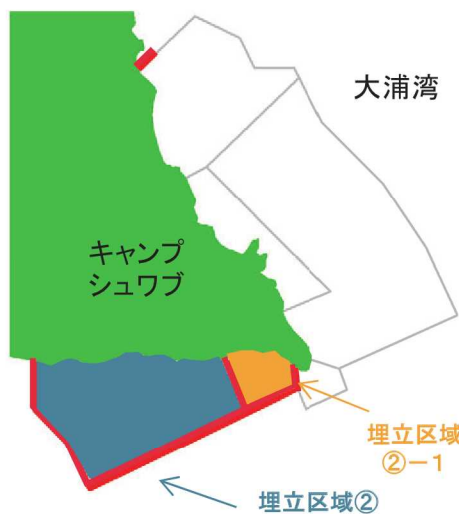
# 普天間飛行場代替施設建設事業について

キャンプ・シュワブにおける普天間飛行場代替施設建設事業につきましては、平成29年11月から辺野古側の護岸工事に着手し、平成30年8月に概成しました。その後、沖縄県の公有水面埋立承認の取消(撤回)処分、国土交通大臣の同処分の効力を停止する決定を経て、同年12月14日に埋立区域②-1の埋立工事に着手したところです。

普天間飛行場の辺野古移設をめぐる問題の原点は、市街地に位置し、住宅や学校で囲まれ、世界で一番危険とも言われる普天間飛行場の危険性の除去と返還です。当局といたしましては、今後とも、普天間飛行場の一日も早い全面返還を実現するため、引き続き、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境に最大限配慮し、辺野古移設工事を進めてまいります。



(平成31年1月撮影)



埋立区域②-1 全景

(平成31年1月撮影)



埋立工事着手時

(平成30年12月14日撮影)



埋立工事施工状況

(平成31年1月撮影)



## 県に事業行為通知書を提出

当局は、1月21日、準備が整ったことから、沖縄県赤土等流出防止条例に基づき、埋立区域②に係る事業行為通知書を提出しました。

同通知書の概要は、以下のとおりです。

事業名：普天間飛行場代替施設建設事業に伴う埋立て(その2)

事業現場の所在地：キャンプ・シュワブ沿岸域(名護市)

事業現場の面積：330,550㎡

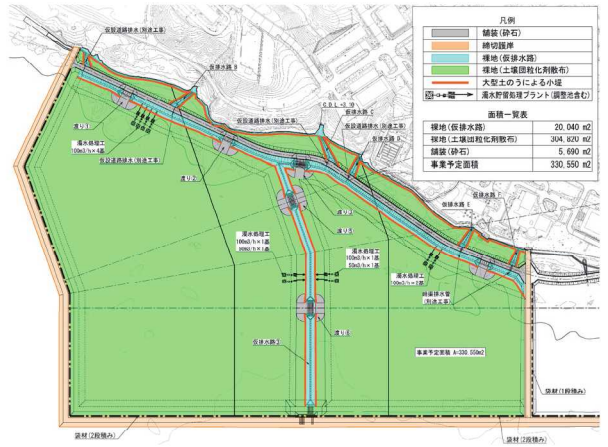
事業行為内容：事業概要 埋立工(埋立区域②)

土壌の種類：岩ズリ

土地の形状：平坦地

事業行為：開始予定年月日：平成31年3月25日

終了予定年月日：平成32年8月31日



## 環境監視等委員会(第18回)を開催



第18回環境監視等委員会での議論の様子

1月22日、防衛省及び沖縄防衛局にて「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境監視等委員会」(第18回)を開催いたしました。

同委員会では、環境省版海洋生物レッドリストに掲載されているサンゴ類の生息状況などについて当局から説明を行い、質疑応答が行われました。

普天間飛行場代替施設建設事業の実施に当たっては、これまでも同委員会の指導・助言を踏まえ、適切な環境保全に努めてきたところであり、今後とも引き続き、同委員会の指導・助言を得ながら適切に進めてまいります。

## 伊江島補助飛行場におけるLHDデッキの運用開始について

在沖米海兵隊は、伊江村にある伊江島補助飛行場において、平成28年度から訓練用の着陸帯LHDデッキ※の改修工事を行っていたところ、平成30年11月末までに同工事を完了し、その後、同着陸帯を使用した訓練を開始しました。

当局は、伊江村役場とも連携し、これまでに同年12月4、5及び13日、同着陸帯において、山口県にある岩国飛行場所属のF-35Bステルス戦闘機が飛来して離着陸等訓練が行われたことを確認し、近隣の西崎区において、最大93.7dBの騒音値が計測されたことなどを把握しました。

当局といたしましては、米軍の航空機の運用に伴う騒音等によって、周辺住民の皆様には及ぼす影響を最小限にとどめることが極めて重要と考えており、引き続き同着陸帯の使用状況の把握に努めつつ、米側に対し、安全な飛行の確保や騒音等の軽減を申し入れるなど地元の負担軽減に努めてまいります。

※ Landing Helicopter Dock デッキ：強襲揚陸艦の飛行甲板を模したものの。

## 普天間飛行場の一部土地の共同使用について

平成30年12月21日、宜野湾市による普天間飛行場に隣接する市道宜野湾11号の整備のため、普天間飛行場の一部土地の共同使用が日米合同委員会で合意されました。

これにより、宜野湾市による市道宜野湾11号の整備事業が進捗し、周辺地域の交通渋滞の緩和が期待されます。



## 平成31年度沖縄関係予算政府案決定

平成31年度沖縄防衛局に係る沖縄関係政府予算案は、次のとおりとなりました。

(単位：億円、%)

事 項	平成30年度 予 算 額	平成31年度 予 算 額	対前年度 増△減額	対前年度 伸 率
1. 基地周辺対策経費	< 284 > 214	< 332 > 328	< 48 > 114	< 16.9 > 53.3
住宅防音	< 116 > 74	< 148 > 147	< 31 > 72	< 27.0 > 96.9
周辺環境整備	< 167 > 140	< 184 > 182	< 17 > 42	< 9.9 > 30.0
2. 補償経費等	< 1,045 > 1,040	< 1,116 > 1,073	< 71 > 33	< 6.8 > 3.2
(1) 施設の借料	1,015	1,035	20	1.9
土地等の借料	1,002	1,011	9	0.9
その他(道路使用等)	13	23	10	79.5
(2) 漁業補償	11	11	0	1.8
(3) その他の補償等	< 19 > 13	< 70 > 26	51 13	< 3.7倍 > 2.0倍
3. 基地従業員関係	476	481	5	1.2
4. 提供施設の整備	< 71 > 71	< 76 > 82	< 5 > 11	< 6.8 > 14.7
5. 提供施設の移設	< 0 > 0	< - > -	< △ 0 > △ 0	< 皆減 > 皆減
合 計	< 1,876 > 1,801	< 2,006 > 1,964	< 129 > 163	< 6.9 > 9.1

注：1 上段< >内は、契約ベースです。

2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがあります。

また、表中における符号「0」は単位未満です。

3 基地周辺対策経費には、米軍再編関係経費(地元負担軽減分)等に計上した経費を含む。

平成31年度特別行動委員会（SACO）関係経費

平成31年度米軍再編関係経費（地元負担軽減に資する措置）

【沖縄関係】

【沖縄関係】

(単位：億円、%)

(単位：億円、%)

事 項	平成30年度 予 算 額	平成31年度 予 算 額	対前年度 増△減額	対前年度 伸 率
1. 土地返還のための事業	< 69 > 26	< 39 > 121	< △ 30 > 95	< △ 43.6 > 4.6倍
2. 訓練改善のための事業	0	0	0	10.2
3. 騒音軽減のための事業	< 5 > 8	< 0 > 0	< △ 5 > △ 8	< △ 88.6 > △ 96.9
4. SACO事業の円滑化を図るための事業	< - > -	< 0 > 4	< 0 > 4	< 皆増 > 皆増
合 計	< 74 > 34	< 40 > 125	< △ 34 > 91	< △ 46.2 > 3.6倍

事 項	平成30年度 予 算 額	平成31年度 予 算 額	対前年度 増△減額	対前年度 伸 率
1. 沖縄における再編のための事業	< 1,221 > 879	< 1,461 > 875	< 239 > △ 5	< 19.6 > △ 0.5
(1) 普天間飛行場の移設	< 1,048 > 816	< 707 > 611	< △ 341 > △ 206	< △ 32.5 > △ 25.2
(2) 嘉手納以南の土地の返還	< 174 > 63	< 754 > 264	< 580 > 201	< 4.3倍 > 4.2倍
2. 再編関連措置の円滑化を図るための事業	< 73 > 73	< 103 > 91	< 30 > 18	< 41.5 > 25.0
合 計	< 1,294 > 952	< 1,563 > 966	< 269 > 14	< 20.8 > 1.4

- 注：1 上段 < > 内は、契約ベースです。  
 2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがあります。  
 また、表中における符号「0」は単位未満です。

## 住宅防音事業に関するお知らせ (75W区域の建具復旧工事について)

当局は、嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺の75W区域の防音建具機能復旧工事について、現在、昭和58年度までに防音工事を実施した住宅を対象に行っているところではありますが、同工事の進捗状況を踏まえ、今般、対象住宅を昭和59年度から同61年度までに防音工事を実施した住宅に拡大することとし、対象住宅にお住いの皆様から同工事の「希望届」を受付けることとしました。

また、「希望届」の用紙につきましては、本年1月下旬から3月末までに当局より対象住宅にお住いの皆様に直接配付いたし、必要事項をご記入の上、当局に提出していただくこととしております。ただし、同工事につきましては、本年4月末日までに当局が受付けた「希望届」の中から、防音工事の実施時期が古い順に行います。

なお、同工事の実施にあたっては、あらかじめ当局から対象の皆様へ「住宅防音事業補助金交付申込書」の用紙を配付いたしますが、予算の都合上、「希望届」の受付から同申込書の配付までに相当期間を要する場合がございますので、皆様には配付までの間、お待ちいただくようよろしくお願いいたします。

当局といたしましては、住民の皆様方が長期にわたりお待ちいただくことがないよう、今後とも引き続き、予算確保に努めてまいりたいと考えております。

(問い合わせ先) 沖縄防衛局 企画部 住宅防音課 TEL : 098-921-8150



## 「平成30年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式」開催

平成30年12月10日、日米共催による在日米軍従業員永年勤続者表彰式が、沖縄市民会館にて開催され、645名（10年表彰144名、20年表彰423名、30年表彰73名、40年表彰5名）の方々の功績が称えられました。

表彰式は、日米の主催者である竹内沖縄防衛局次長及び海兵隊太平洋基地海兵隊バトラー基地司令官ポールJ. ロックJr准将の式辞に始まり、陸軍、海軍、空軍、海兵隊、AAFESの各軍受賞代表者に対し、竹内次長及び各軍司令官から、それぞれ表彰状と記念品が贈られました。続いて、来賓の沖縄米国総領事館リチャード ロバーツ副領事及び與那覇全駐労沖縄地区本部執行委員長から祝辞の後、受賞者代表として座間味勇様から勤続40年の想いを込めた答辞が英語で述べられ、厳かに表彰式は終了しました。

表彰式後の懇談会は一転賑やかとなり、出席者同士で記念撮影に応じたり、談笑に花を咲かせていました。12月の雨の開催にもかかわらず、多くの出席者の笑顔に満たされ式典は終了いたしました。

受賞者の皆様おめでとうございます



受賞者の様子

## 【お知らせ】 米軍基地での勤務を希望される方へ

**在日米軍従業員の事前募集受付中！**

応募は24時間いつでも受付可能なインターネットがおすすめです！

HPアドレス：<http://www.lmo.go.jp> **LMO** で検索できます。

### 応募資格

沖縄県在住の満18歳以上の方

### 応募方法

インターネット又は窓口のいずれか1回の応募で有効です。

- ・インターネット：エルモのHP（<http://www.lmo.go.jp>）を開き、【求人情報】の【沖縄県における事前募集】を御覧ください。（スマートフォンはインターネット応募と同様）
- ・スマートフォンの方はこちらから ⇒ 
- ・窓口応募：指定の応募用紙に必要事項を記入の上、お申込みください。
- ・応募用紙は下記受付窓口にて配布しています。

### 受付時間

インターネット：年中24時間受付中

・窓口応募：受付時間は午前9時～午後5時30分（土曜・日曜、祝日及び12月29日～翌年1月3日を除く。）

受付窓口・お問合せ先



独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構（エルモ）沖縄支部 管理課  
嘉手納町字屋良1058番地1（道の駅「かでな」隣り） TEL：(098)921-5532



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。  
連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室  
メールアドレス：[houdou-ok@okinawa.rdb.mod.go.jp](mailto:houdou-ok@okinawa.rdb.mod.go.jp)